

【学会レビュー】

2006年国際サイコセラピー会議インジャパンおよび 第3回アジア国際サイコセラピー会議に参加して

松田英子

2006年8月28日から9月1日まで、東京・新宿にて開催された2006年国際サイコセラピー会議インジャパンおよび第3回アジア国際サイコセラピー会議に参加・発表してきた。

世界のサイコセラピーの動向や、日本の心理臨床の動向およびサイコセラピストの国家資格化問題（法案提出が見送られた医療心理師の件も含む）について、熱く議論が展開されていた。

個人としては、日本カウンセリング学会提供の、シンポジウム Cognitive-behavioral Approaches as Evidence-based Stress-coping Strategies（ストレス対処方略としての認知行動アプローチ）にて、演題 Effectiveness of Cogni-

tive therapy on nightmare disorders: Clinical application of cognitive restructuring to both waking and dreaming cognition（悪夢障害に対する認知療法の有効性の検討——覚醒時および夢見中の思考に対する認知的再構成の適用）を発表することができた。認知療法は主にうつ病や不安障害に有効で実用性の高い認知行動療法の1つの代表的技法として有名であるが、私の専門とする悪夢障害の心理治療に関しても、夢見中と覚醒時における思考の双方に、認知療法を適用することの臨床的エビデンスについて論じたところ、国内外の研究者から貴重なコメントを頂いた。